

(公財) 日本体操協会
平成30年度第2回評議員会議事録

1. 日 時 平成31年3月23日(土) 13時00分～14時40分

2. 場 所 岸記念体育会館 5F 504-505会議室

3. 出席者 <評議員>

出 席

大島斎礼、加藤澤男、瀧澤康二、早田卓次、林 直樹、長谷川輝紀、鷹西美佳、
柳善二郎、長澤稔子、崇島慎一、慶野峰晴、藤田正敏、渡邊一郎、渡辺栄一、
望月克己、森令子、山岸弘宜、竹谷一、白石伸三、知念義雄 20名

欠 席

コシノヒロコ、大橋英記 2名

<理事・監事>

出 席

二木英徳(会長)、塚原光男(副会長)、具志堅幸司(副会長)
山本宜史(専務理事)、遠藤幸一(常務理事)、岩瀬史子(広報委員長)、
竹田幸夫(監事)、高橋史安(監事) 8名

4. 資料の確認

審議事項

第1号議案 定款一部変更の件

第2号議案 その他

報告事項

第1号報告 第三者委員会特別調査委員会答申内容

第2号報告 第三者委員会提言事項検討委員会答申内容

第3号報告 2019年度予算について

第4号報告 規程の改定について(11 規程)

第5号報告 佐賀国体以降の人員について

第6号報告 日中合同強化合宿

第7号報告 2019年度JOC コーチ設置事業

第8号報告 2019年度会議日程

5. 権限審査

定款第5章第24条に基づき、本評議員会は定員評議員22名、本日は、コシノヒロコさん、大橋英記さんの2名が欠席、本日出席評議員は20名で、評議員会開催の定足数（過半数）11名に達していることを渡邊事務局長より報告した。

6. 二木会長ご挨拶

8月に起きたパワハラ問題に関し、第三者委員会調査報告書の内容を真摯に反省し、特別調査委員会および提言事項検討委員会を設置し、これらの審議経過を踏まえて委員長より報告して貰う。来年の東京五輪に向けて、世界選手権に目標をおいて強化中。更に6月には、役員改選を控えており、次回に役員人事を提案する予定。

なお、外部有識者等の増員を計画中との挨拶があった。

7. 議長選出

定款第4章第16条の定めにより、評議員会議長は、評議員の中から選出すると定められており、瀧澤康二評議員が議長に選出された。

8. 議事録署名人

定款第5章第26条に基づき、議長の瀧澤康二並びに早田卓次評議員及び林直樹評議員の3名を指名し、議場に諮り、全員異議なく承認された。

9. 審議事項

第1号議案 定款一部変更の件

議長の指名により、遠藤総務委員長は以下の説明を行った。

本協会が岸記念体育会館の撤去に伴い、6月新宿区へ引っ越しをする。第2条の所在地を渋谷区から新宿区へ変更する。

つづいて、6月の役員改選に向け、先の第三者委員会の提言を受け、外部有識者の登用を、スポーツ庁などからは女性役員の増員を求められている。実現のため、現行役員の15～20名の定員数を、18名～23名と変更したい。

議長は、遠藤委員長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

長澤評議員 役員についてのリストが無い。提出してほしい。

山本専務理事 役員選考委員会では6月の評議員会で提出のために選考している最中。5月の常務理事会、6月の理事会の審議を経て、評議員会への提案となる。

長澤評議員 審議する場所がほしいと前回の評議員会で発言した。

山本専務理事　理事は6月の評議員で決定する。委員長は4月からとなるので、理事会決議を経て既に決定している。

二木会長　理事はまだ決まっていない。6月の評議員会で決定する。

具志堅副会長　男女強化本部長は決まっているので、資料はあとで送る。理事はこれから決めていく。定款の変更が認められれば、それに合わせて提案する。

崇島評議員　女子強化本部長が決まっているのであれば、今日出してほしい。

渡邊事務局長　委員長リストは準備する。新役員の選任は評議員会で決定する。役員候補の案内は事前に行いたい。

以上の質問、意見の後、第1号議案は、原案通り、承認・可決された。

第2号議案 その他

・特に議題はなく、報告事項に移る。

10. 報告事項

第1号報告 第三者委員会特別調査委員会答申内容について

議長の指名により、高橋特別調査委員会委員長は以下の説明を行った。

特別調査委員会のメンバーは二木会長、竹内審判委員長、米田アスリート委員長、監事の高橋が務めた。委員会の目的は今回の騒動にて協会規程への抵触の調査、理事会に報告が目的、第三者委員会の調査報告書に登場する人物と関連人物、活動期間は今年の3月まで。委員会は4回開催した。

当委員会の考え方は、規程違反があった場合には懲戒委員会を開き、再発防止を考えた。

以後の対象者への結論は懲戒委員会の対象としないこととした。

宮川紗江選手の行動は、倫理規程第3条(1)、メディア活動ガイドライン10項に違反の疑いがあったが、反省文が提出されていたので、処分無しとした。

塚原千恵子強化本部長の行動は、倫理規程3条(9)(12)への疑いがあったが、謝罪表明と退任表明に伴い処分無しとした。

塚原光男副会長の行動は倫理規程第3条(11)(12)に抵触する疑いがあったが、謝罪と任期満了をもって、処分無しとした。

具志堅幸司副会長の行動は、倫理規程第3条(1)(2)(11)に抵触する恐れがあったが、文書提出及び会長嚴重注意を持って、処分無しとした。

池谷幸雄氏の行動は、倫理規程第3条(1)(11)に抵触する疑いがあったが、誓約書を提出する予定とのことであり、処分無しとする。

上記の内容について山本専務から理事会にて報告確認済みであることが報告された。

議長は、高橋委員長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

崇島評議員 塚原千恵子強化本部長だけ人権尊重に反するとの言葉が入っている。違いを知りたい。

高橋委員長 第三者委員会の報告書に記載済みの内容。例えば「宗教みたい」との発言がこれに当たると認識する。他の2名にはこれに該当する言葉は見当たらなかった。

崇島評議員 池谷氏はテレビでかなりひどいことを言っていた。

高橋委員長 池谷氏は報告書の対象者ではなかった。テレビなどで調査した範囲ではこの結果となった。

具志堅副会長 自分は世間を混乱させたことに対して詫びた文書を提出した。どういう意味合いで発言したかの聞き取り調査をしてほしかった。

崇島評議員 この処分に対する不満の表明か？

具志堅副会長 自分の意図した発言とは違う意味にとらえられている。ただ混乱させたことはあったので詫びた。

崇島評議員 不満を表明するのなら、新たに調査したらどうか？

具志堅副会長 誤解を招いたことは事実だったので詫びた。ただ真意と違ったことだけ伝えなかった。これ以上の事は望んでいない。

第2号報告 第三者委員会提言事項検討委員会答申内容について

議長の指名により、竹田提言事項検討委員会委員長は以下の説明を行った。

特別調査委員会のメンバーはわたし竹田と二木会長、山本専務理事、水鳥強化本部長、山崎強化本部長、JSC 森岡さん、日本フェンシング協会太田さんの7名で実施した。3月まで3回開催した。優先順位を高め進めた。

第三者委員会の立ち上げの経緯は妥当であった。対象が本会役員であり、ドーハ世界選手権大会を1か月後に控えていたためであり、日弁連のガイドラインを使用し妥当であったが、理事会の審議等を通してないため、丸投げになってしまった。今後は手順等作成が必要である。

7つの提言事項は広範囲となったため、3項目を重点化した。常務理事会の活性化、コンプライアンス体制の確立、強化本部長の職務と権限の明確化をあげた。

常務理事会は緊急対策の対応策、監事出席、外部理事の登用、委員会と役員の職務の検証、ガバナンスコードの準拠を提案する。

コンプライアンス体制としては、通報者保護規程、コンプライアンス委員会の構成員の変更、通報窓口をわかりやすくすること。

強化本部長の職務と権限の明確化としては、強化本部内規を設ける。所属選手を持たない。利益相反義務。選手選考、新規事業は委員会の議事録添付。

国際大会派遣ガイドラインを定め、理事会決議を経る。選手変更ガイドラインを設ける。

議長は、竹田委員長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

大島評議員 よくまとめてくれた。ただ、常務理事会への監事出席は定款に出ているので、監事の責もあるのではないかと。監事の責務は大きい。大きな権限を持っている。スポーツ庁からは10年の定年制が言われている。勧告をそのまま受けると全員入れ替えくらいになる。2001年の際は全員辞表を出した。ガイドラインを実行するのなら相当の覚悟が必要だ。そうしなければ改革はできない。

竹田委員長 ガバナンスコードでは定年制等いろいろ言われている。順次出来るところからやっていく。

長澤評議員 アンダーラインがついていないところで非常に重要なことが書かれている。役員の入れ替えが困難であると書いてある。一番の課題は女子体操だ。具体的な改革の内容を設け、来年に向けてほしい。

竹田委員長 アンダーラインが無いから重要ではないということではない。強化本部長の人選までは本委員会の内容でないと判断した。だが、非常に重要事項と認識している。

崇島評議員 強化本部長への提言で、田中光さんが決まった経緯を知りたい。提言より先に決まったのか。

山本専務理事 田中氏は女子強化本部の部員であった。ユニバーシアード、アジア大会の監督実績。所属を持っていない事、世界選手権での実績を持って推薦があった。出来るだけ早く新体制に移行するために今年1月の理事会にて決議した。

第3号報告 2019年度予算について

議長の指名により、渡邊事務局長は以下の説明を行った。

1. 予算規模 (単位：千円)

	2,019年度	2018年度	増減
経常収益	1,419,865	1,401,550	18,315
経常費用	1,387,643	1,264,079	123,564
経常増減	32,222	137,471	▼105,249

トランポリン世界選手権大会の開催により経常費用を増加している。また、JOC 評価ランクのダウンにより助成金が大幅減少している。約53百万円減。ランクは特AからAランクに落ちた。落ちた最大原因は世界選手権・アジア大会での成績が振るわなかったから。収支改善対策として53百万円を目標に再提案をお願いして黒字予算を確保する。

2. 会計区分別

	公益会計	収益事業	合計
経常収益	894,738	570,127	1,419,865
経常費用	1,178,602	45,310	1,387,643
経常増減	▲328,864	524,817	32,222

ワールドカップ及びトランポリン世界選手権があり経費がかさむ。今年のトランポリンには2億の引き当てを組んでいる。2023年に向けても1億円ずつ組んでいきたい。

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

大島評議員 成績が悪く、補助金が減らされた。アジア選手権には2軍を送った。中国は1軍を送っている。強化本部の人選を知りたい。

山本専務理事 世界選手権が近く、違うメンバーでも金メダルが取れると踏んで、メンバーを組んだ。

大島評議員 結果、メダルとっていない。見込み違いだったと言える。

第4号報告 規程改定について

議長の指名により、遠藤総務委員長は資料の説明を行った。

変更は、日本スポーツ協会の公認コーチ制度の名称変更。日本体育協会から日本スポーツ協会への改名。トランポリン登録システムの合併。パルクールの加盟日本スポーツ協会の名称変更などにより、トランポリン競技コーチ規程、指導員認定規程、国庫補助金等公金の取扱に関する規程、事務職員服務規程、役員等規程、競技者規程、加盟団体規程、登録規程、コンプライアンス規程、委員会運営規程、器械・器具検定規程を変更した。

議長は、遠藤委員長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

早田評議員 検定委員会がある。安全は考えてほしい。東工大に試験場がある。以前かなり無理してお願いした経緯がある。検査の現状を把握してほしい。練習用具の考え方を説明してほしい。

遠藤委員長 新体操手具は、FIG 同様印刷が必要である。男子新体操はFIG がやっていないため、委員会とササキスポーツで検討している。検定場はドイツ、日本と2か所ある。2か所ある事に意味がある。練習用具は広範囲な意味合いだ。跳び箱やマットなど学校体育とリンクして扱っていくものとなる。

長澤評議員 女子トライアウトがあった。所属でないコーチがついていたと問い合わせが

あった。所属無しでも良いのか？コーチの登録を明確にしてほしい。
遠藤委員長 所属があったと聞いた。一度でも登録のあるものは登録者扱いがあり、口頭で報告を受けている。

第5号報告 佐賀国体について

議長の指名により、渡辺事務局長は資料の説明を行った。

日本スポーツ協会から提案があった。総数を守れば、トランポリン、男子新体操を行っても良いと回答を得た。但し 40 都道府県の登録が必要。661 名の範囲で、体操、新体操、トランポリンを行える。現時点では申請の形、日本スポーツ協会国体委員会の承認待ち。

質問・意見は無かった。

第6号報告 日中合同強化合宿について

議長の指名により、山本専務理事は資料の説明を行った。

日中代表チームが相互に合宿を行った。2 月にまず、日本チームが中国に行き、後に中国が日本に来て合同合宿を行った。共にアジアのレベルを上げることを目的としている。強化からしても新しい発見があり、好評を得た。

質問・意見は無かった。

第7号報告 2019 年度 JOC コーチ設置事業

議長の指名により、渡邊事務局長は資料の説明を行った。

前年度の塚原千恵子本部長、塩山副本部長、北村ジュニアコーチが変更となり、田中 光氏と立松佳通氏、6 月 NHK 杯の結果次第で追加 1 名が新たに選任された。いずれも謝金扱いとなる。

質問・意見は無かった。

第8号報告 2019 年度会議日程

議長の指示により、資料報告とした。

その他

山本専務理事 委員会の委員長リストを配布する。理事会にて決議済。4月から新委員長にてスタートする。役員選考は6月の評議員会にて決定。

柳評議員 我々は強化を第一に考えなければならない。塚原千恵子強化本部長と塚原光男副本部長の退任となる。強化のためを考えるとこの二人が退任する穴は大きい。新たな組織になっても大丈夫だという組織づくりをお願いしたい。強化本部長は全てを統括とある。男子と女子は違い、女子は大変だったらしい。強化推進本部などを作って、強化本部長をサポートしてはどうか。

崇島評議員 宮川選手の速見コーチが大会の観客席などに来た場合はどうするのか？ほかの選手に影響があるのではないか？検討が必要なのではないか。

議長は、すべての議案の終了を確認し、14時48分に閉会を宣言した。

平成31年3月23日

議長 瀧澤 康二

議事録署名人 早田 卓次

議事録署名人 林 直樹